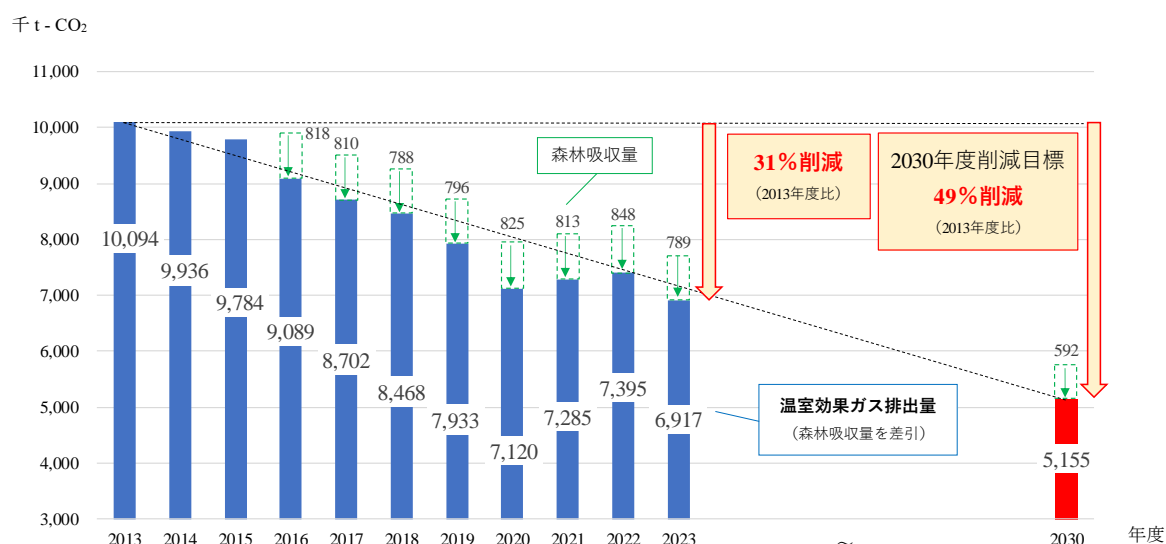


# 福井県における温室効果ガス排出量の算定結果 (2023 年度速報値<sup>1</sup>)

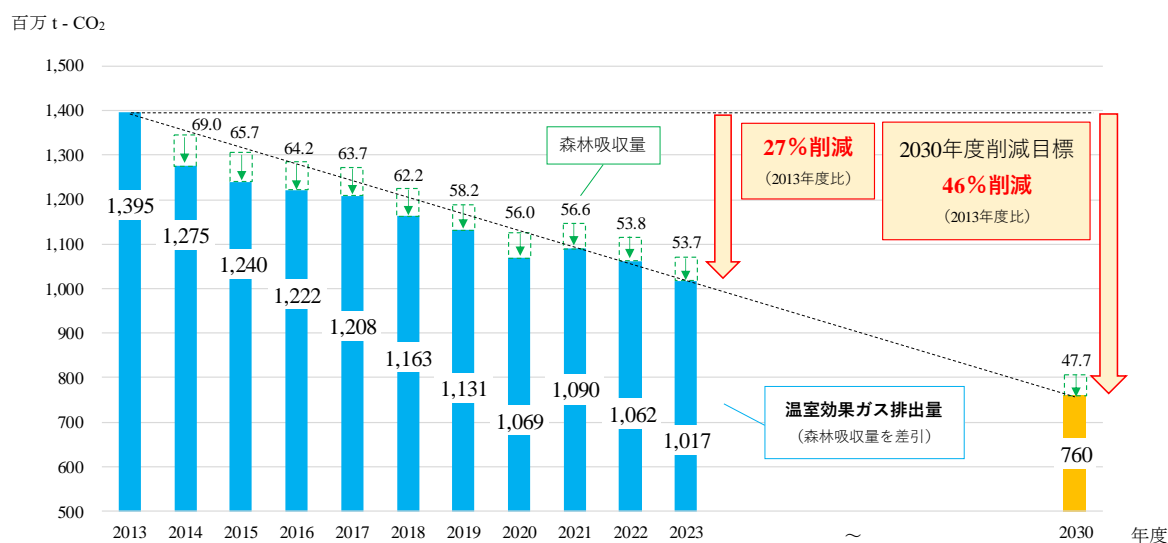
## 1 温室効果ガス排出量の変化

- ・2023 年度の温室効果ガス排出量（速報値）は 6,917 千 t-CO<sub>2</sub>、2013 年度比 31.5%の減少、2022 年度比で 6.5%減少と、基準年度である 2013 年度以降過去最低であった。製造業における生産活動が減少したこと、電力の CO<sub>2</sub>排出係数<sup>\*</sup>が改善したこと等が温室効果ガス排出量の減少に影響したと考えられる。
- ・なお、国全体の 2023 年度排出量は 1,017 百万 t-CO<sub>2</sub>であり、2013 年度比 27.1%の減少、2022 年度比 4.2%の減少であった。

※電力の CO<sub>2</sub>排出係数：電気の供給 1kWh あたりどれだけの二酸化炭素を排出しているかを示す数値



【図 1】福井県の温室効果ガス排出量



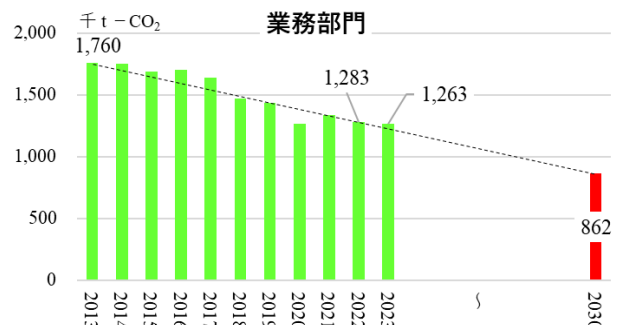
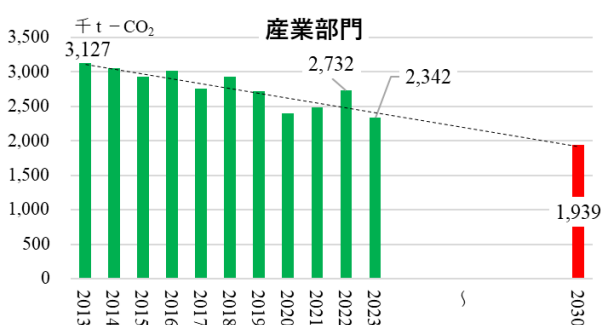
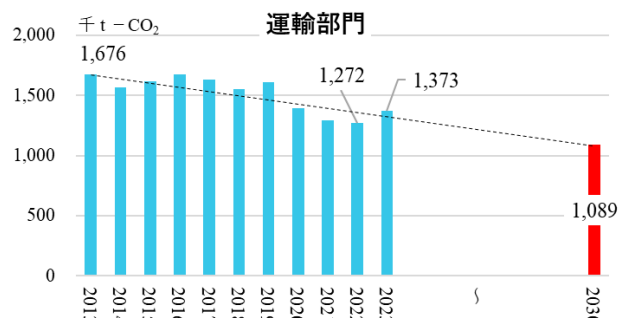
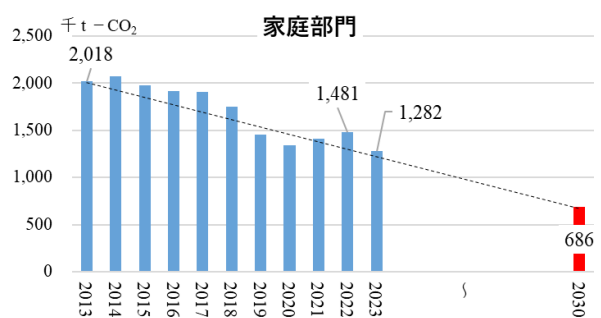
【図 2】国全体の温室効果ガスの排出量（環境省公表資料より福井県作成）

<sup>1</sup> 2023 年度速報値は、今後、各種統計データの修正等により再計算される場合があります。

## 2 部門別の排出状況の変遷

(単位：千t・CO<sub>2</sub>)

部門		2013 年度 排出量	2022 年度		2023 年度 (速報値)			2030 年度(目標)	
			排出量	削減率	排出量	削減率		排出量	削減率
				2013 年度比		2013 年度比	前年 度比		2013 年度比
二酸化炭素	家庭	2,018	1,481	△26.6%	1,282	△36.5%	△13.4%	686	△66%
	運輸	1,676	1,272	△24.1%	1,373	△18.1%	+7.9%	1,089	△35%
	産業	3,127	2,732	△12.6%	2,342	△25.1%	△14.3%	1,939	△38%
	業務	1,760	1,283	△27.1%	1,263	△28.2%	△1.5%	862	△51%
	その他	941	833	△11.5%	781	△17.0%	△6.3%	691	△27%
	小計	9,522	7,601	△20.2%	7,041	△26.1%	△7.4%	5,267	△45%
その他ガス		572	642	+12.2%	665	+16.3%	+3.5%	480	△16%
森林吸収源		-	△848	-	△789	-	+7.0%	△592	-
合計		10,094	7,395	△26.7%	6,917	△31.5%	△6.5%	5,155	△49%



【図3】福井県の部門別温室効果ガスの排出量

### 2030 年度目標に向けての進捗

- ・福井県全体の温室効果ガス排出量は、2013 年度から減少傾向であり、2030 年度の目標に向けて概ね順調に推移している。しかし、運輸部門については対前年度比で増加し、家庭・業務部門についても削減が不十分であることから、エネルギー源の転換と省エネを進め、さらに排出量を減少させていく必要がある。

## 部門ごとの状況

### (1) 家庭部門

- ・2023年度のCO<sub>2</sub>排出量は、2022年度比で13.4%減少し、2013年度比で36.5%減少した。
- ・家庭部門のCO<sub>2</sub>排出量は、電気の使用に伴うものが約8割を占めており、2022年度と比較して電力消費量が減少したこと、さらに電力のCO<sub>2</sub>排出係数が改善したことが、排出量減少の主な要因である。電力消費量の減少は、冬季の平均気温が高かったこと等に起因するものと思われる。

### (2) 運輸部門（自動車等）

- ・2023年度のCO<sub>2</sub>排出量は、2022年度比で7.9%増加し、2013年度比で18.1%減少した。
- ・運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量は、自動車の使用に伴うものが9割以上を占めており、2022年度と比較して自動車の燃料消費量が増加していることが、排出量増加の主な要因である。燃料消費量の増加は、コロナ禍からの社会経済活動の回復が影響しているものと思われる。

### (3) 産業部門（工場等）

- ・2023年度のCO<sub>2</sub>排出量は、2022年度比で14.3%減少し、2013年度比で25.1%減少した。
- ・産業部門のCO<sub>2</sub>排出量は、製造業からの排出が約9割を占めている。製造業のCO<sub>2</sub>排出量は電気の使用に伴うものが約5割を占めており、2022年度と比較して電力消費量が減少したこと、さらに電力のCO<sub>2</sub>排出係数が改善したことが、排出量減少の主な要因である。製造業における電力消費量の減少は、生産活動の減少に起因するものと思われる。

### (4) 業務部門（商業・サービス・事業所等）

- ・2023年度のCO<sub>2</sub>排出量は、2022年度比で1.5%減少し、2013年度比で28.2%減少した。
- ・業務部門のCO<sub>2</sub>排出量は、電気の使用に伴うものが約6割を占めており、2022年度と比較して電力のCO<sub>2</sub>排出係数が改善したこと、さらに重油などの燃料の消費量が減少したことが排出量減少の主な要因である。燃料の消費量の減少は、冬季の平均気温が高かったこと等に起因するものと思われる。